

パブリックコメントを実施します

パブリック・コメントとは、市民に広く影響する市の基本的な施策を決める時に、その施策の趣旨、目的、内容などの必要な事項を広く市民の皆さんに公表し、皆さんから提出された様々なご意見、情報などを施策に反映し、その結果と市の考え方を公表する制度です。

「平成22年度市政運営方針」

重点施策(案)について

目的・趣旨

市では、市民・事業者・行政が協働し、限られた財源と人的資源を生かしながら、「個性輝く創造社会」「持続可能な定住社会」「互恵・共生社会」の3つの地域社会像の実現を目的に取り組んでいます。このため、毎年重点施策を策定し、市政運営にあたっており、平成22年度についても市政運営方針・重点施策(案)を策定しました。

これに伴い、パブリックコメントにより公表し、市民の皆さんから施策の推進項目(具体的事業など)について意見を募集します。

重点施策項目及び方針

第5次長期総合計画の基本計画の分野別計画に基づき、推進に努めていきます。

なお、具体的事業などについては、「公表の方法」によりご覧ください。

公表及び意見の募集期間

10月1日(木)～20日(火)

意見の提出方法

次のいずれかの方法により政策形成

課までご意見をお寄せください。

○直接提出

○郵送にて提出

〒402-8501(住所不要)

都留市役所総務部政策形成課

○FAX (45)5005

○電子メール

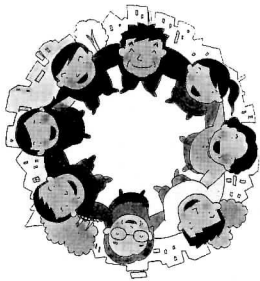
seisaku@city.tsuru.lg.jp

※様式は自由ですが、住所・氏名及び連絡先を必ず記入してください。記入がない場合は受け付けられません。

公表の方法

市のホームページ、情報公開総合窓口(行政管理課)、政策形成課、地域コミュニティセンター(土・日・祝日閉庁)で縦覧できます。

問合せ先 政策形成課 政策担当



平成21年度県民コミュニティカレッジ講座(地域ベース)

テーマ 文学作品を通して、現代日本の諸問題を考える

概要 昭和から平成の時代に作られた文学の名作を読むことを通して、現代日本の精神的危機を考察し、取り組むべき諸課題をそれぞれの講師が専門分野の学問を使って提起します。

第1回 現代人の心の闇について

講師 村上春樹「レキシントンの幽霊」

日時 10月6日(火)午後7時～9時

第2回 歴史意識の大切さについて

講師 大佛次郎「天皇の世紀」

日時 10月13日(火)午後7時～9時

第3回 日本の方言分布のかかえる問題点について

講師 松本清張「砂の器」

日時 10月20日(火)午後7時～9時

第4回 心と言葉の伝え方について

講師 榎渡 登(国文学科教授)

日時 10月27日(火)午後7時～9時

講師 阿毛久芳(国文学科教授)

日時 10月27日(火)午後7時～9時

講師 阿毛久芳(国文学科教授)

日時 10月27日(火)午後7時～9時

講師 阿毛久芳(国文学科教授)

日時 10月27日(火)午後7時～9時

講師 阿毛久芳(国文学科教授)

日時 10月27日(火)午後7時～9時

講師 阿毛久芳(国文学科教授)

日時 10月27日(火)午後7時～9時

講師 阿毛久芳(国文学科教授)

日時 10月27日(火)午後7時～9時

講師 阿毛久芳(国文学科教授)

都留市ソーラーのまちづくり参加者募集

市では、太陽光発電設備の普及と、グリーン電力証書を活用した地域内におけるカーボンオフセットの推進のため、環境省のモデル事業として「都留市ソーラーのまちづくり推進事業」を推進しています。この事業において、市内の一般住宅で、これから太陽光発電システムを取り付ける方、もしくはすでに取り付けられている方の、自家消費分にもなう環境価値を1kwhあたり7円で買い取ります。

事業に参加するにあたっては、自家消費電力を計測するための検定付電力メーターの取り付けが必要となりますが、この取り付け設置費については補助制度がありますので、お問い合わせください。

参加条件

○市内に太陽光発電設備を設置した住宅を所有、もしくは所有する予定の方
○計量法に適合した検定付電力メーターが総発電量を計測できる部分に設置されていること(補助制度あり)
※詳細については、お問い合わせください。

【用語説明】

※カーボンオフセットとは、日常生活で必ず出てしまうCO2を削減する活動を行うことで、出してしまったCO2(カーボン)を埋め合わせ(オフセット)することです。

問合せ先 政策形成課 政策担当